「地域」って、何？
「大人の学校」って、なに？

２０２１年7月３１日

小鹿野町地域おこし協力隊　宇佐川　拓郎 USAGAWA Takuro

自己紹介

宇佐川　拓郎　USAGAWA Takuro

（北海道札幌市出身）

小鹿野町地域おこし協力隊
おがの発　大人の学校　代表

【３つの時期】

１）大人として
　　「学校」を知った時期

２）地域おこし協力隊として
　　「地域」を考えた時期

３）理想の
　「学校」像と
　「地域」像とを結びながら
　『大人の学校』をつくる時期

今日の流れ

【あなたの問い】
「　　」

【３部】
深める題材『大人の学校づくりを見てみて』
ダイアローグ「２０５０年の学び舎って、どうなるの？」

【２部】
考える題材『地域おこし協力隊という活動を通して』
ダイアローグ「地域って、なに？」

【１部】
触れる題材『日本の教育とデンマークの教育に触れて』
ダイアローグ「学校って、なに？」

【わたしの問い・悩み】
「地域に学び合いのコミュニティをつくる意味って、何だろう」

【１部】

「学校って、なに？」

触れる題材

『日本の教育とデンマークの教育に触れて』

３つの違和感

抱いた違和感①

どうして、空間の移動が、限定的なの？

・四角く、狭い教室
→四角い机・椅子がぎっしり

➡**「学び」がそもそも、**
「座る（スタイル）」と「書く（方法）」に
結びつけられているのはなぜか？

退屈すると、座っていられない子どもたち・・・
「たつな！座りなさい！」と、声を荒げつづける自分・教員・・・

・「屋内」の「ある教室」で過ごす時間が、圧倒的・・・

➡**「動きたい！」「体験したい！」盛りの子どもたち**
の衝動や自発性と、齟齬はないのだろうか・・・？

抱いた違和感②

どうして、メンバー構成は、固定的なの？

・学年や学級＝年齢で輪切りに

➡**ある年齢＝一律の「習熟」レベルが前提に・・・**

それにより、順序づけが行われているのでは？

・変わりにくい横の繋がりの中（集団内）における
「コミュニケーション能力」が、求められる・・・

➡**「社会における多種多様な他者」との**
コラボレーション（協働力）が大切となる現代において
齟齬はないだろうか？

抱いた違和感③

どうして、カリキュラムが決まっているのだろうか？

	時間	月	火	水	木	金
1	8:45 ~ 9:30	社会	算数	国語	音楽	国語
2	9:35 ~ 10:20	理科	社会	道徳	算数	図工
3	10:40 ~ 11:25	国語	音楽	算数	国語	音楽
4	11:30 ~ 12:15	算数	社会	理科	図工	家庭
		１２時１５分~１３時３０分　給食				
5	14:10 ~ 14:55	体育	理科	社会	学活	国語
6	15:00 ~ 15:45	体育		図工		理科
	15:45 ~	帰りの会				

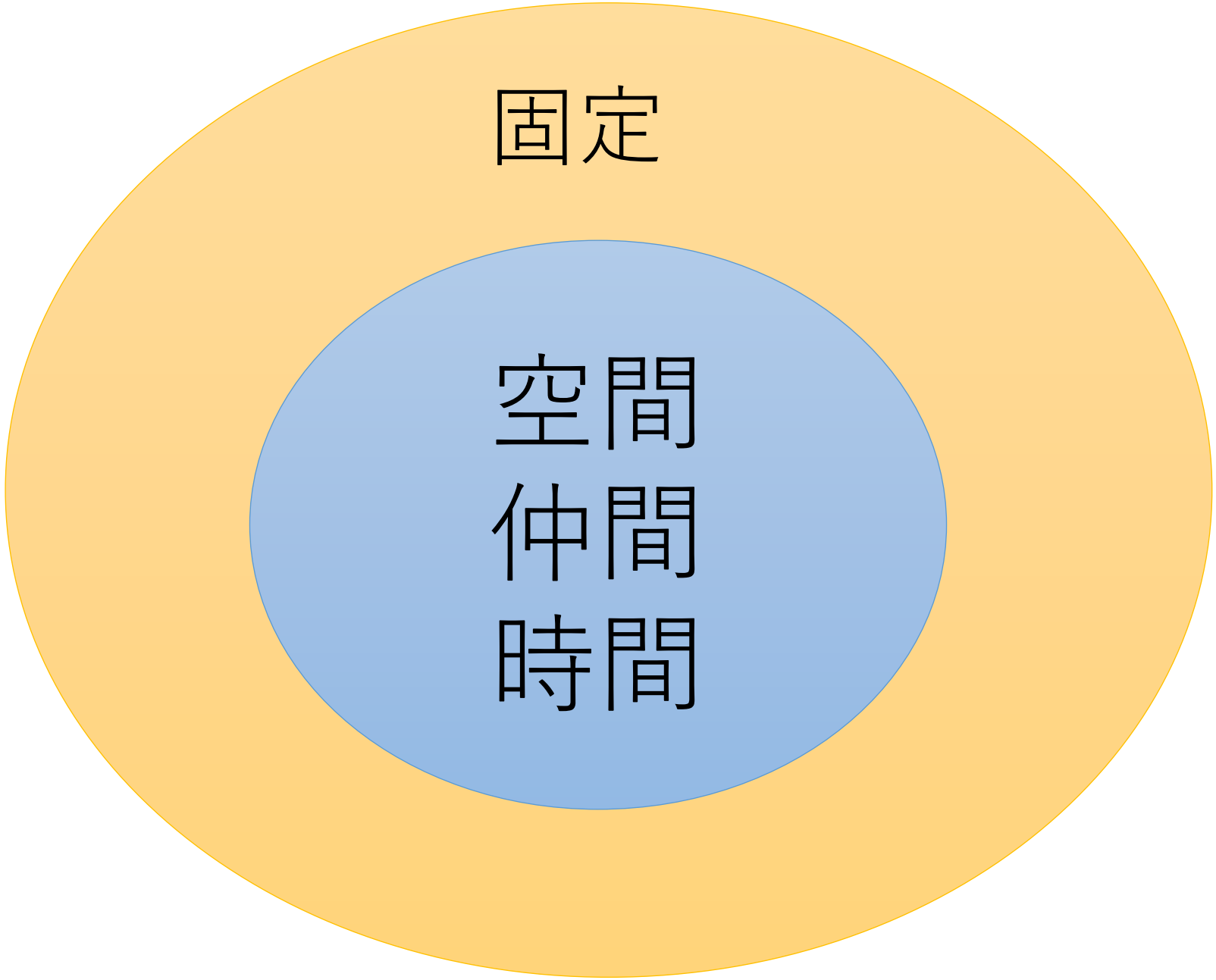
・「習得すべき内容」「学ぶ順番」「時間割り」などが、
　決められている・・・

➡誰が、それを決める「主導権」をもっているの？

➡その中で満たされない「欲求」は、どうなるの？

➡カリキュラムって、そもそも、「何のため」にあるの？

３つの間



②デンマーク留学時代

解放され、希望をもつ
ここからだ・・・

○「フォルケホイスコーレ」との出会い・・・

・教員時代に、伯母から、紹介される

・「民主主義をつくってきた学校」「自由すぎる教育機関」という言葉に惹かれて

◯渡航前の「デンマーク×教育」の探求・・・

・フォルケホイスコーレの理念にさらに惹かれていく・・・
「農民の啓発・相互作用」➡「民主社会の根幹をつくる」

・歴史的な（150年以上に及ぶ）ルーツの深さに、
心が揺り動かされていく

・フォルケホイスコーレの基本思想やムードが、
公教育にも流れ込んできたのではないか
・・・「学校は住民が創れる」という文化・土壌

◯歴史的なルーツ

・伝統的なラテン語学校や神学校ー神父や聖書が絶対

・デンマーク語の軽視

・農民の方々は、ヒエラルキーの最下層として、固着

・グルントヴィ
　ー神父・哲学者・詩人・教育者
　ーキリスト教会で異端視される

・フォルケリ・ホイスコーレとして、
　王や貴族から農民まで、あらゆる階層のひと同士が、
「相互作用」を通して、「生の啓発」を深め合っていく

・農民の「生の啓発」（Enlightment）に焦点があたるように

・市民の育成の役割を担う。
　民主主義社会の礎を気づく教育機関

学びと暮らしの近さ（１つの軸で）

校長との距離の近さ

学び

気づき合い、活動へ繋ぐ

Value of your own roots
To become SOMEONE
Reflection learning
Create and support identity
Reframing your story
Sharing
Knowledge
Unlearn
Relevant education
Power of belonging
Educate active citizens
Holistic concept
To care about people
Make the future more present
Spaciousness
Creating a Serious free space
Music and the creative arts
Hand and spirit
Responsibility
Put your life on fire
Enriched vocabulary to reflect
Provide capacity of analysis
Living and dining together
Redefining identity
Bring people together
Challenge each other
Resonance
Education for life
Cooperation
Critical thinking
Reintegration
Communication
Activity based learning
Spirit
Singing
Common ground
Community based learning
Respect
Culture
Unthinking
Consciousness
Reflection
Differentiation
Inclusion
Equality
Practical
Sustainable peace
Globalization (world citizen)
Lifelong learning
Pedagogical approach
Unconventional methods
Self-development/reflection
Cultural Exchange
Provocation
Community
Freedom
Direction
Dannelse
Awareness
Participation
Togetherness
Creativity
Facilitation
Exchange of ideas
Be the Change
No exams
Curiosity to learn
Involvement
Separation
Historic poetic
Dialogue
Empathy
Peer to peer
Action based pedagogies
Collaboration
Solidarity
Inter-generational
Balance
Activity
Empowerment
Self-confidence building
Openness
Understanding
Awakening
Safe environment
Enlightenment
Mutual respect
Bringing differences together
Contextual
Value based
Social competencies
Solutions of environmental cri
Change for the better
Ownership of ideas
Collective reflections
Global awareness
Education
Joy
Antagonizing
active listening
Teamwork
Freedom of teaching method
UBOK
Question your own opinion
Nonviolent communication
Light to enlighten life
Self-worth
Equal instructor and learner
No fear
Space to dream and share
Personal knowledge
Value of global diversity
Uncode Words
Recognized pedagogic

フラットな対話で気づく

地域の活動へ出かける

タームの中間で、世界へ、旅に出る

暮らし

「ヒュッゲ」（Hygge）
和らいで場を楽しみ、相互信頼を育む

３食を、共にする

「文化」を、築く（編む）

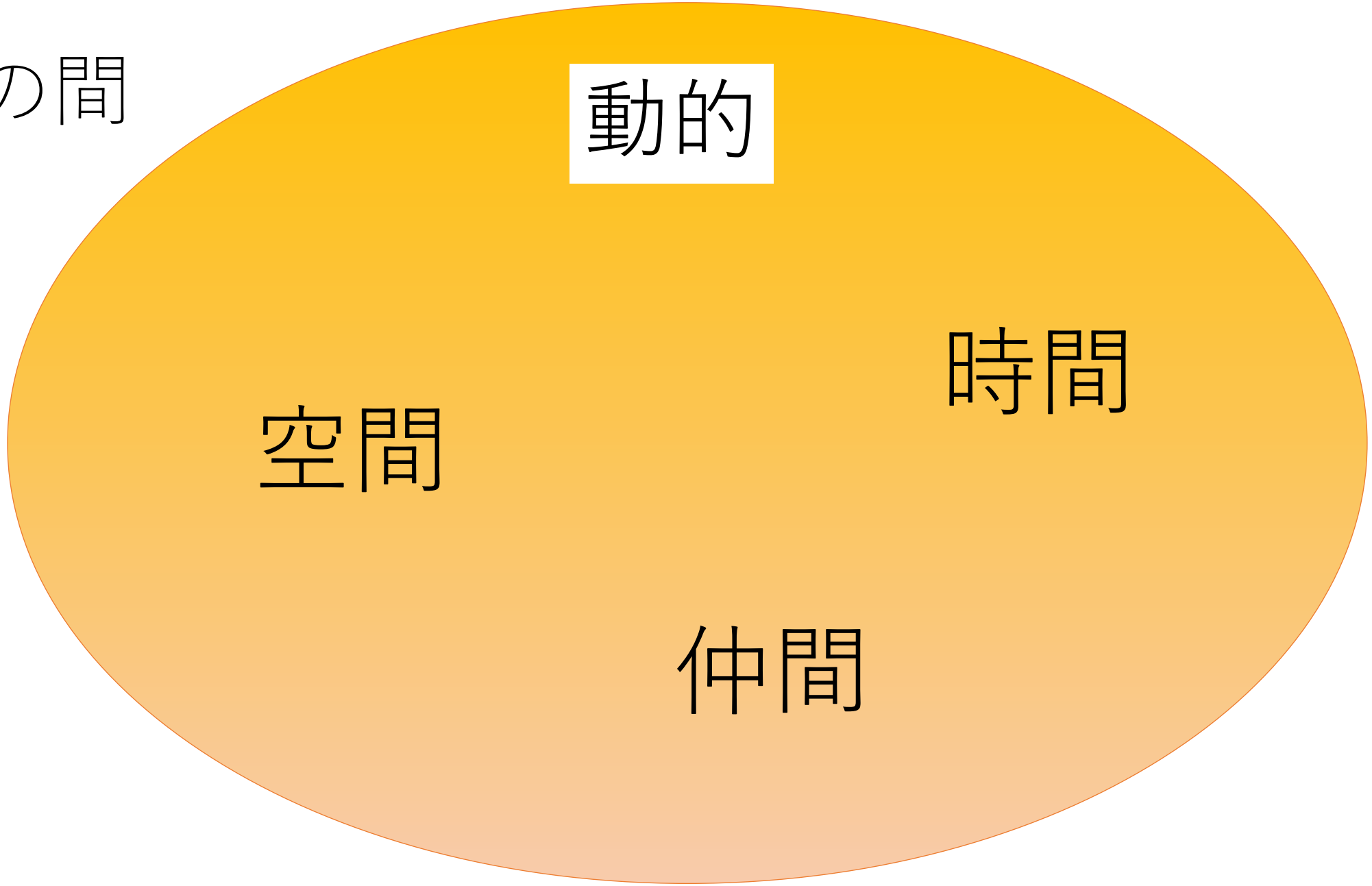
「文化」・・・

・仲間と信頼（ラポール）
・時間と余白
・空間と活動

「どうやって？」

・ヒュッゲして（和らぐ・楽しむ）
・ときに、対話をして

３つの間



ダイアローグ　Part①

「学校」って、なに？

たとえば・・・

・何のため・誰のためにあるべきか？
・そもそも、必要なのか？

・３つの間について

・アイデンティティと、どう、
関係しているのか？

【２部】

「地域って、なに？」

考える題材

『地域おこし協力隊という活動を通して』

２）地域おこし協力隊として
「地域」を考えた時期

なぜ、地域おこし協力隊か？①

・島根県での高校魅力化プロジェクトの事例を知る

・自治の契機は、「肌で感じる」ちょうど良い範囲から
　生まれるのではないか

・「地域」には・・・
　　動きが生まれる余白があることを感じる

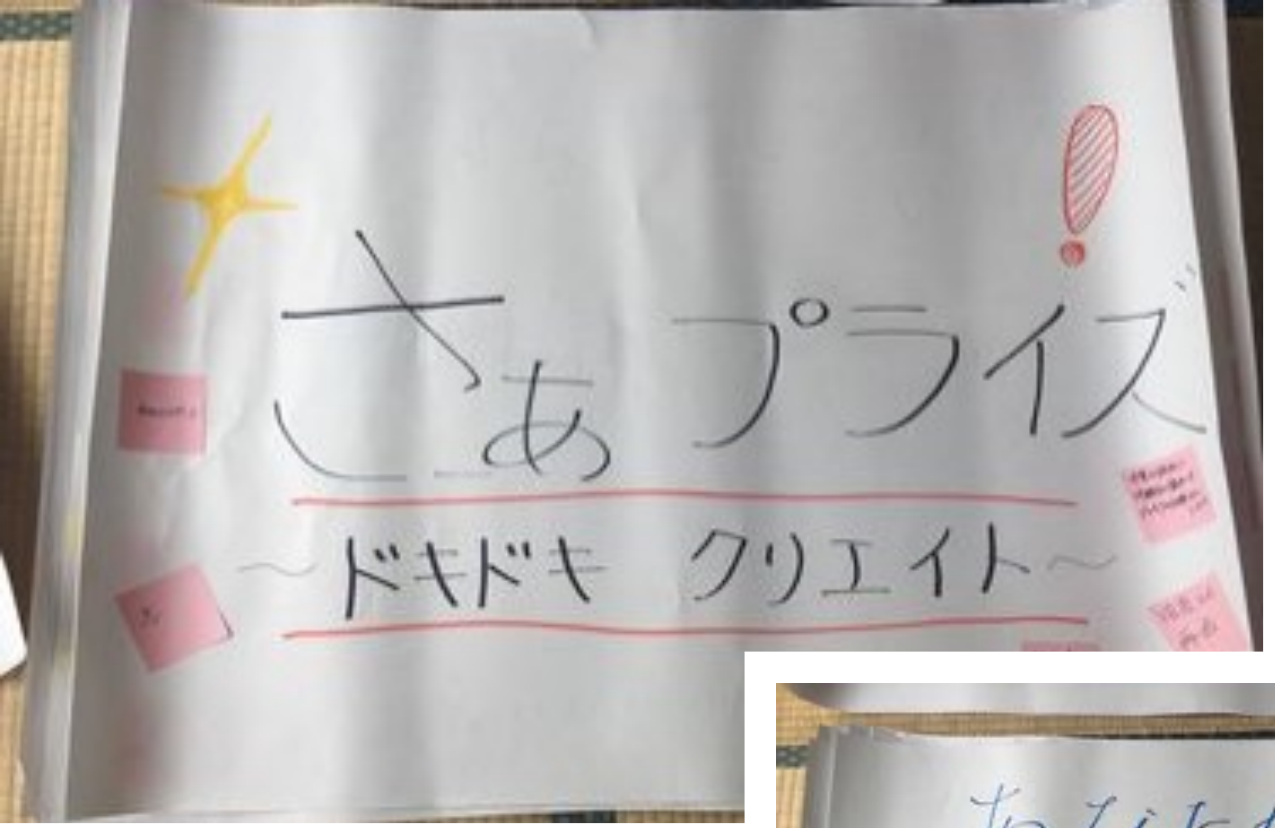
なぜ、地域おこし協力隊か？②

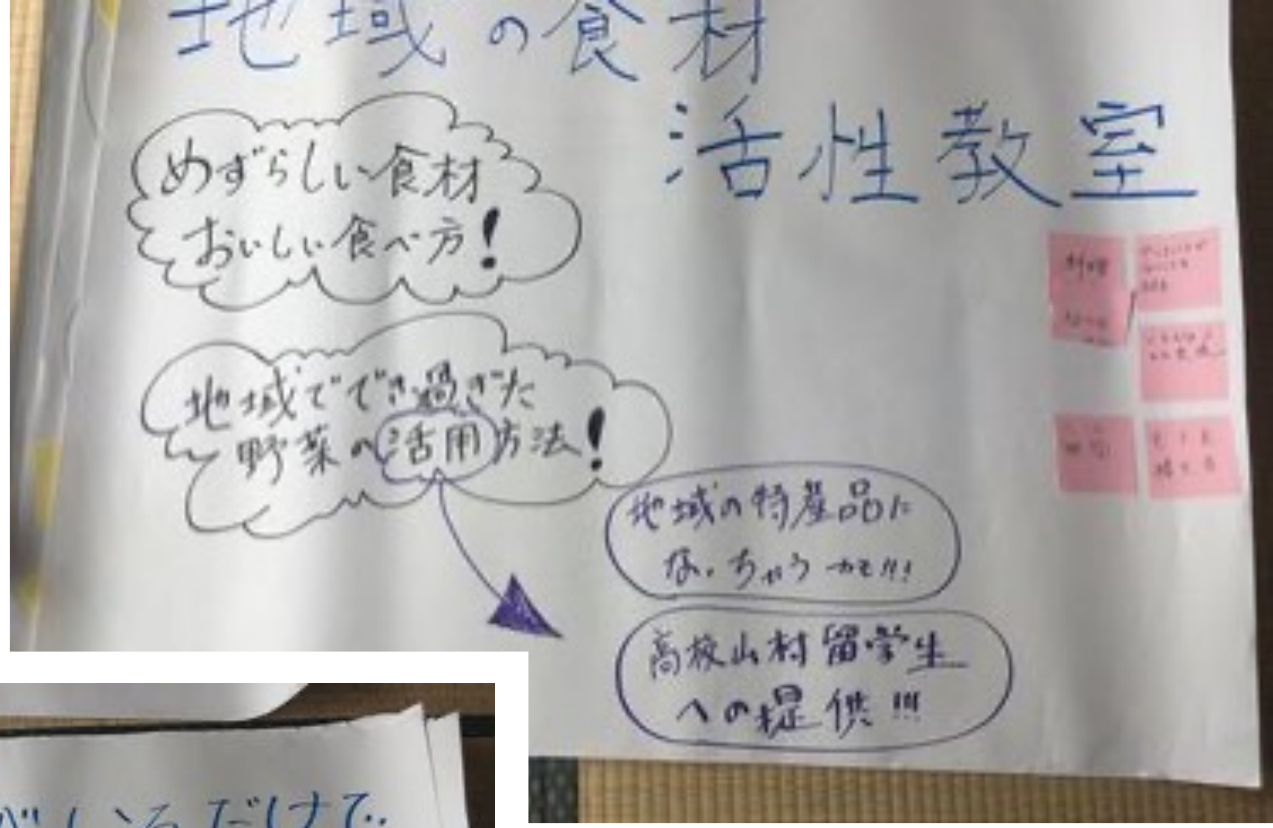
・実際に小鹿野町を、教育関係（高校魅力化プロジェクト）の先輩の地域おこし協力隊に案内してもらう

➡仮説があたっている気がする・・・
ここでなら、動きたいように動けそう・・・

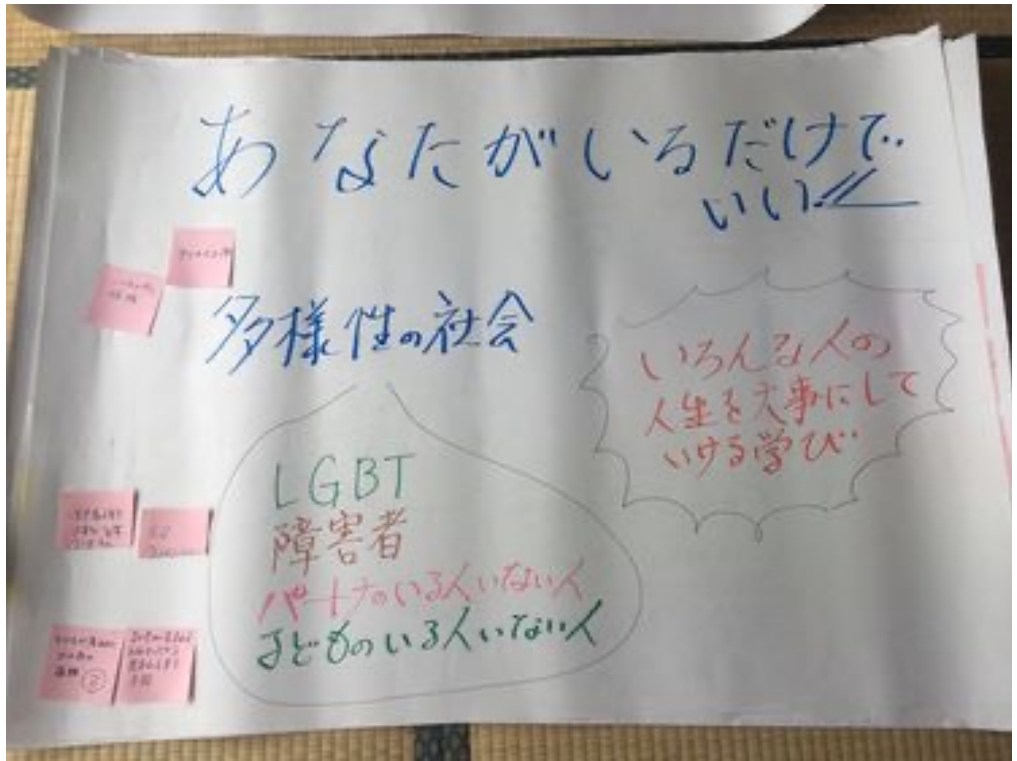
・行政職員も紹介されたが、自由に動けそうな地域おこし協力隊という立場に惹かれる・・・

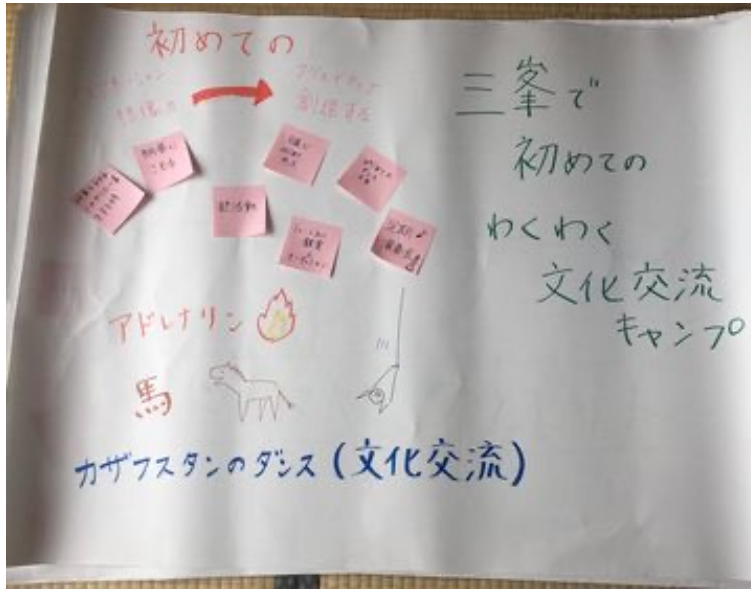
大人の学校を考える座談会

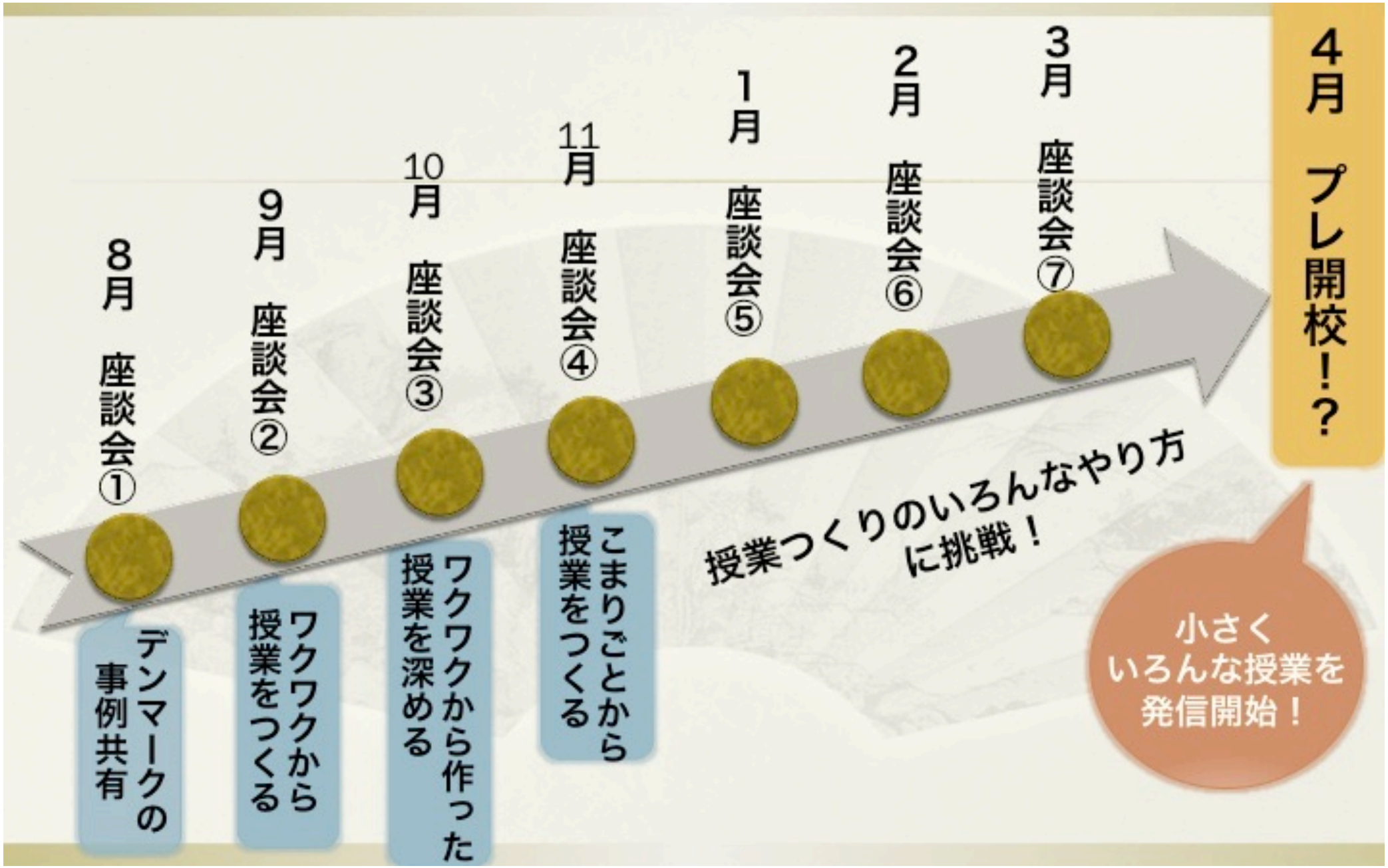

ことあプライス
～ドキドキ クリエイト～


地域の食材
活性教室
めずらしい食材
おいしい食べ方！
地域でできあがった
野菜の活用方法！
地域の特産品に
なっちゃうかも！
高校山村留学生
への提供!!

大人のOFF in 小鹿野
旅


あなたがいるだけで
いい
多様性の社会
LGBT
障害者
パートナーのいる人いない人
子どものいる人いない人
いろんな人の
人生を大事にして
いける学び


初めての
三峯で
初めての
わくわく
文化交流
キャンプ
アドレナリン
馬
カザフスタンのダンス（文化交流）


4月　プレ開校！？
3月　座談会⑦
2月　座談会⑥
1月　座談会⑤
11月　座談会④
10月　座談会③
9月　座談会②
8月　座談会①
こまりごとから授業をつくる
ワクワクから作った授業を深める
ワクワクから授業をつくる
デンマークの事例共有
授業つくりのいろんなやり方に挑戦！
小さく
いろんな授業を
発信開始！

ダイアローグ　Part②

「地域」って、なに？

【３部】

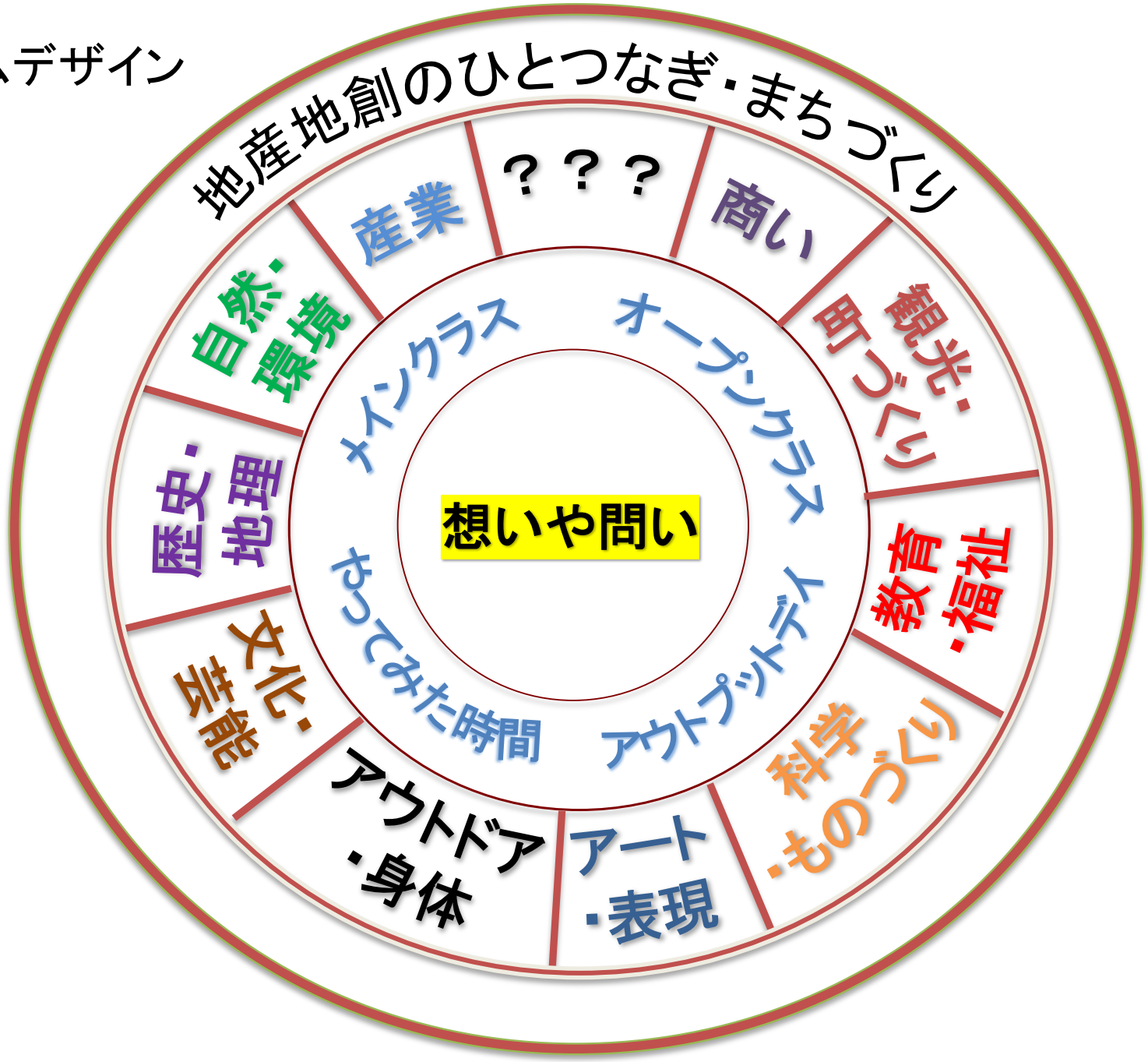
「２０５０年の学び舎ってどうなるの？」

深める題材

『大人の学校づくりを見てみて』

３）理想の「学校」像と「地域」像とを結びながら『大人の学校』をつくる時期

カリキュラムデザイン


地産地創のひとつなぎ・まちづくり
？？？
商い
観光・町づくり
教育・福祉
科学・ものづくり
アート・表現
アウトドア・身体
文化・芸能
歴史・地理
自然・環境
産業
オープンクラス
アウトプットデイ
さってみた時間
ナインクラス
想いや問い

令和４年４月までのストーリー

令和３年
３月

学びの時間　各種　スタート

準備のターム　【３月～７月】

＊授業の時間＊
- 夢の描き方
- Hey!New Culture

＊対話の時間＊
- 混じり合う対話

＊セッションの時間＊
- ダンスでセッション

＊ラボの時間＊
- 旅するダンス団

＊サークルの時間＊
- 歌舞伎サークル

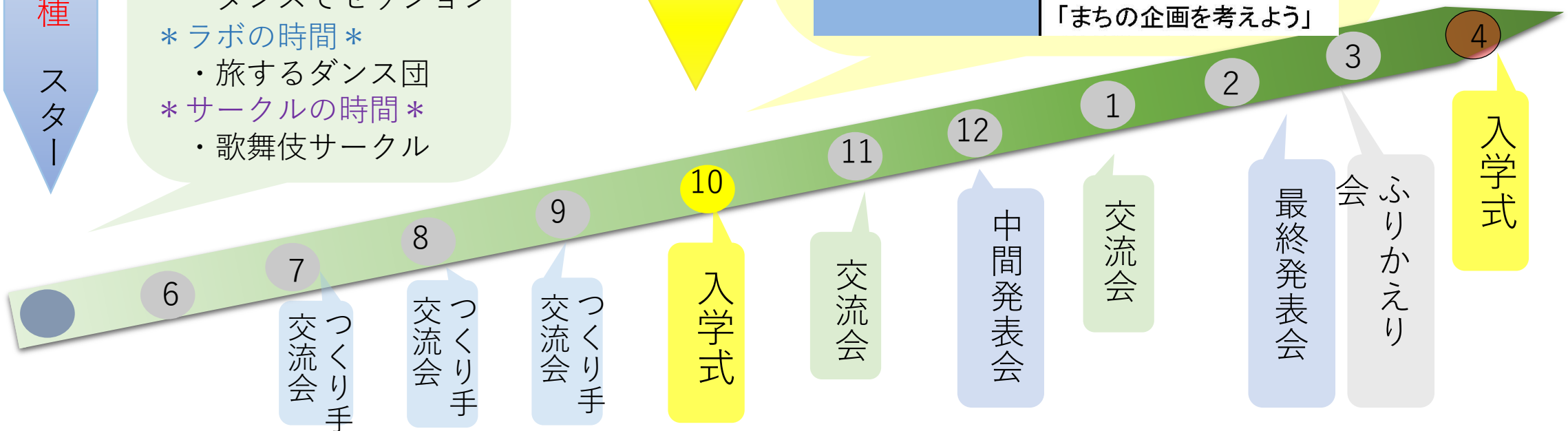
入学プログラム実施

第１ターム　【１０月～３月】

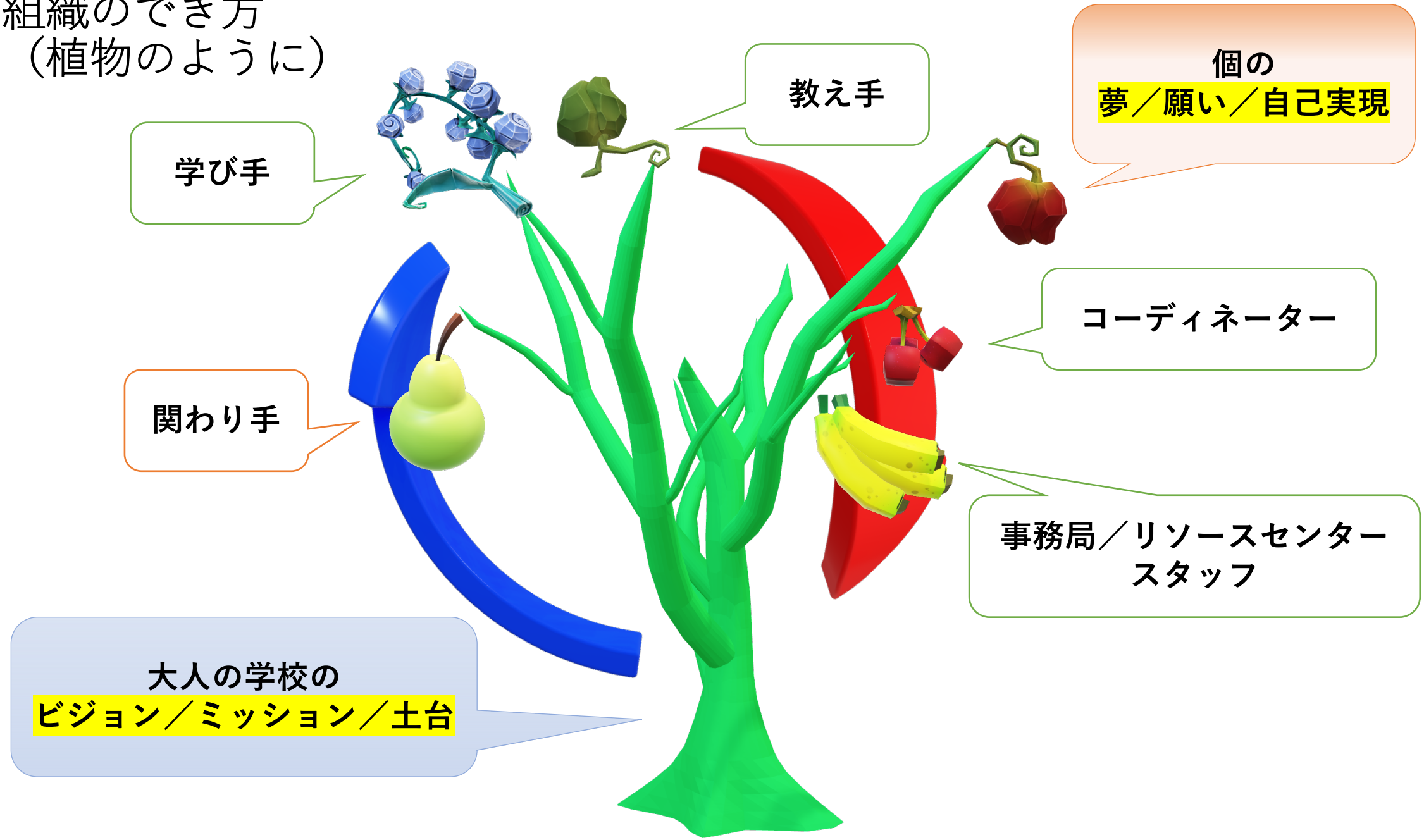
【オープン】	対話の時間
【メインコース】 環境 芸能・アート 自己実現 文化・伝統 まちづくり 歴史・地理 商い 異文化	未来の農業（有機） 旅するダンス 夢の描き方 歌舞伎サークル 小鹿野の魅力再発見 魅惑の地学ゼミ 移住者と仕事 Hey! New Culture
【やってみる時間】	テーマでバトンリレー 「地域おこし協力隊」 広場を考える 商工会プレゼンツ 「まちの企画を考えよう」

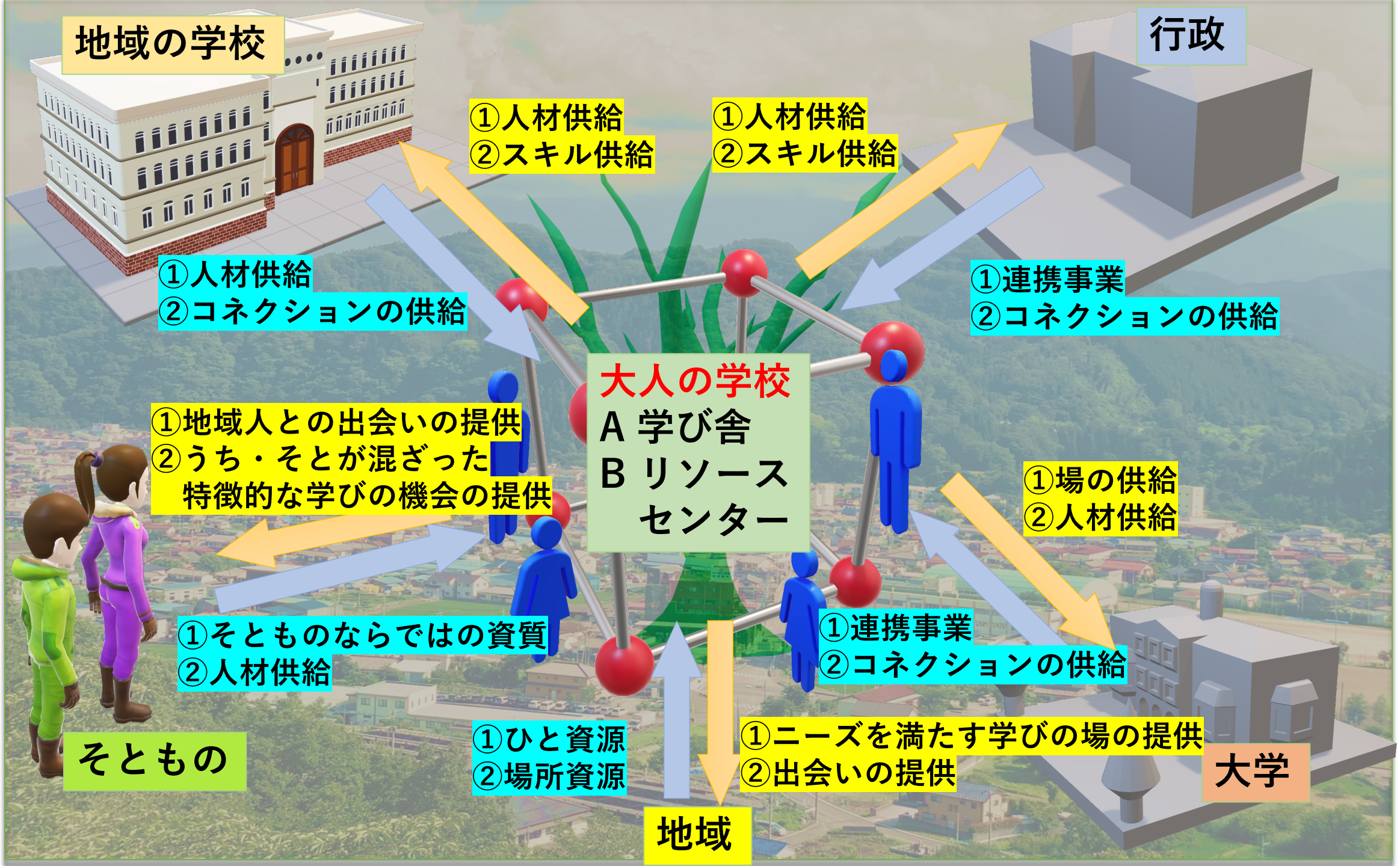
令和４年
４月

第２ターム　スタート



組織のでき方
（植物のように）




地域の学校
行政
①人材供給
②スキル供給
①人材供給
②スキル供給
①人材供給
②コネクションの供給
①連携事業
②コネクションの供給
大人の学校
A 学び舎
B リソース
センター
①地域人との出会いの提供
②うち・そとが混ざった
特徴的な学びの機会の提供
①場の供給
②人材供給
①そとものならではの資質
②人材供給
①連携事業
②コネクションの供給
そとものの
①ひと資源
②場所資源
①ニーズを満たす学びの場の提供
②出会いの提供
大学
地域

ぶつかる問い①

「地域」に「学び舎」が存在する意味って？

ぶつかる問い③

２０５０年の学びのかたちは、どうなるの？

・「越境」する
世代を超える／属性を超える／信念を超える

・リアルな社会課題を、「楽しんで」「アプローチする」
➡ Learning by Doing with Enjoyment
楽しく成すことによって学ぶ

・「地域」は、そのための「手の届くちょうど良い範囲」の舞台とならないか？

ダイアローグ　Part③

２０５０年の学び舎ってどうなるの？

チェックアウト
～明日へ、つながる～

あなたの問いは？